



まちの話題



響 金ケ崎火防祭で囃子屋台運行 きわたる伝統の音色

金ケ崎火防祭（祭典実行委員会主催）は4月20日に開かれ、囃子屋台や神輿などが街地区中心部や金ケ崎駅付近を練り歩き、1年の防火を祈りました。「生涯教育の町」30周年を記念し、平成21年に街地区自治会連合会で復活させ、運行していた囃子屋台。太鼓の小学生9名、三味線の中学生3名が搭乗し演奏を披露しました。及川隆義囃子屋台運行実行委員長は「火防祭はあと3年で100周年を迎える。地域で防火に関する意識を高めることと同時に、節目に向けて地域の伝統が続いていけるよう安全に運行できれば」と願っていました。

児童生徒12人と大人の奏者3人が乗って町内を巡行した



春 eDAY～佳日、とのみ～ を満喫

国史跡鳥海柵跡で4月26日、「eDAY～佳日、とのみ～」(eDAY実行委員会)が開催され、各種体験会やバンド演奏などが披露され、参加者は春のひとときを満喫しました。同日には鳥海柵跡の学習会「てくてくとのみファミリーラリー」が開催。史跡の各ラリーポイントをまわりながら歴史を学ぶイベントに多くの家族が参加しました。

避難想定を行い手順を確認する参加者



災 令和7年度金ケ崎町防災訓練 害に備えて

令和7年度金ケ崎町防災訓練が4月19日に行われ、町、町消防団、地域の自主防災組織が協力し訓練に臨みました。大雨による北上川の増水と地震の複合災害の発生を想定して行われ、三ヶ尻地区で高齢者等避難を発令し、三ヶ尻と南方地区生涯教育センターで避難所を開設。参加者は防災への意識を高め、備えの大切さを確認しました。



快晴で多くのイベントが大盛り上がり

高橋寛寿町長（右）に目録を手渡す齋藤代表取締役副社長（左）



貴 行政相談員総務大臣感謝状贈呈式 方の悩み解決に向けて

平成31年から6年間金ケ崎町の行政相談員を務めた高橋ミナ子さんへの総務大臣感謝状贈呈式が4月14日、役場庁舎で行われました。6年間を振り返った高橋さんは「相談を受けた日に現地確認に行き、少しでも早い解決につながるように心掛けた。コロナ禍もあったが、少しでも皆様のお役に立てたなら嬉しい」と話しました。



笑顔で感謝状を持つ高橋さん（左2）

安 新一年生へのクマ鈴贈呈式 心な登下校のために

共栄運輸株式会社（加藤 正 代表取締役社長）は4月16日、頻出している熊への安全対策のため、本年度入学した新一年生115名へクマ鈴を寄贈しました。各小学校へ配布され児童の通学時の安全を守ります。齋藤直人代表取締役副社長は「昨年度に引き続き寄贈させてもらった。会社としても子どもたちが安心して教育を受けられるよう地域社会に貢献できれば」と述べ、高橋寛寿町長は「本年度も多くの寄贈をいただき大変感謝申し上げる。クマ鈴を着けて児童や保護者に安心して学校に通ってほしい」と話しました。

高橋日本赤十字社岩手県支部金ケ崎町分区長へ
義援金を手渡す赤十字奉仕団のみなさん



早 大船渡市赤崎町林野火災への義援金寄託 期の復興のために

金ケ崎町赤十字奉仕団（氏家富士子委員長）は4月9日、大船渡市赤崎町林野火災への支援のために町内で募金された義援金を日本赤十字社岩手県支部金ケ崎町分区長（高橋寛寿町長）へ寄託しました。氏家委員長は「ニュースを見て少しでも力になりたいと皆さんたくさん募金していただいた。早い復興につながれば」と願っていました。